

新しい時代の 大学教育につなぐ メッセージ

～ DP 事業が目指し、創り上げてきた成果～

文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」は、令和 2 年度・3 年度に公募され、メニューⅠ「文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム」・メニューⅡ「出る杭を引き出す教育プログラム」・メニューⅢ「インテンシブ教育プログラム」をテーマに 9 つの採択校が個性ある取組を推進してきました。

本事業最終年度にあたり、成果発信シリーズとして、8 月には東京都市大学を会場に第一弾「未来思考型ワークショップ 2024（アイデアソン）」を、12 月には大正大学を会場に第二弾「教学マネジメントセミナー 2024」を開催してきました。第三弾として、最後の総括シンポジウムを開催し、本事業が目指し、創り上げてきた成果を社会に広く紹介し、新しい時代の大学教育につなぐメッセージを届けたいと思います。

2000 年代以降続いてきた「特色ある大学教育支援プログラム」（GP: Good Practice）、「大学教育再生加速プログラム」（AP: Acceleration Program）などの教育改革事業の一つの節目に当たり、本事業の意義や価値を参加者とともに共有したいと思います。



2025 /

3.6 [THU]

10:00 - 17:20

早稲田大学 早稲田キャンパス 14 号館

会場及びオンラインによるハイブリット開催

- 09:30 ~ 受付
- 10:00 ~ 10:10 開会挨拶
- 10:10 ~ 10:20 文部科学省来賓ご挨拶
- 10:20 ~ 11:00 基調講演
「知識集約型社会を支える人材育成が目指すもの」
- 11:15 ~ 12:25 分科会セッション A
- 13:10 ~ 14:20 分科会セッション B
- 14:30 ~ 15:40 分科会セッション C
- 15:55 ~ 17:10 総括パネルディスカッション
- 17:10 ~ 17:20 閉会挨拶



対 象 大学関係者ほか、どなたでも参加可能

定 員 会場 100 名、オンライン 100 名
(会場参加は、定員になり次第、申込受付終了)

申込方法 申込フォームから必要事項をご記入の上お申し込みください。
お申込受付後、オンライン参加の方には Zoom 情報を本シンポジウム開催日の前日までにメールで送付します。
お預かりした個人情報は、本シンポジウムの運営業務以外には使用いたしません。

申込フォーム <https://forms.gle/iBhboQftjXzHpG1a6>

申込期限 2025 年 3 月 3 日（月）17:00

参加費
無料

申込フォーム



【アクセス】早稲田キャンパス 14 号館へは、都営バス「西早稲田」、「早稲田」バス停、東京メトロ東西線「早稲田」駅、都電「早稲田」駅が最寄りとなります。



プログラム

09:30 ~ 受付

10:00 ~ 10:10 **開会挨拶** ※201 教室

早稲田大学 副総長 (教学統括 (プロボスト/教務・研究推進・産学連携)、人事総括) **須賀 晃一**

10:10 ~ 10:20 文部科学省来賓ご挨拶

10:20 ~ 11:00 **基調講演** 「知識集約型社会を支える人材育成が目指すもの」

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 監事/芝浦工業大学 前学長 **村上 雅人氏**

11:00 ~ 11:15 休憩

11:15 ~ 12:25

分科会セッション A

※201 教室、101 教室、102 教室

分科会 1 早稲田大学

プログラム参加者の体験から問う
インテンシブ教育の意義
—境界を越えた学びの深化—

分科会 2 東京都市大学

イノベーションで未来を切り拓く：
次世代リーダー育成
「東京都市大学ひらめき PG」の挑戦

分科会 3 千葉大学

イシューを発見し、解決をめざす
メリハリのあるターム運営
—千葉大学の取り組み—

12:25 ~ 13:10 休憩

15:55 ~ 17:10 総括パネルディスカッション

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 監事/
芝浦工業大学 前学長 **村上 雅人氏**

京セラ株式会社 東京事業所長/
産学連携推進部 責任者 **大西 実氏**

ファシリテーター：
東京財団政策研究所 研究主幹/
教育ジャーナリスト **松本 美奈氏**

17:10 ~ 17:20 **閉会挨拶**

金沢大学 理事 (総括・大学改革・教育・情報担当) / 副学長 **森本 章治**

(総合司会：金沢大学 教学マネジメントセンター 副センター長/教授 **林 透**)

【講師紹介】



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 監事/
芝浦工業大学 前学長
村上 雅人氏

1984年東京大学博士課程修了。新日鉄研究所、超電導工学研究所を経て2003年より芝浦工業大学教授、2012~2021年まで同学長を務める。2023年より情報・システム研究機構監事、日本技術者連盟会長に就任。世界最強の超伝導磁石の開発に成功し、日経 BP 賞、World Congress Superconductivity Award などを受賞。著書には、理工学シリーズの量子力学I,II,III(飛翔舎)をはじめとして、専門書は30冊を超える。



京セラ株式会社 東京事業所長/
産学連携推進部 責任者
大西 実氏

1984年京セラへ新卒で入社。1998年名古屋営業所所長。2002年中国上海へ赴任。2004年京都本社へ帰任。人材開発課に新卒・中途の採用責任者として異動。2012年人材開発部長に就任。2021年シニア入りを機に産学連携業務に特化し、大学への教育支援を中心に活動。2023年東京事業所長に就任し、産学連携推進部責任者を兼務。一般社団法人エッジソン・マネジメント協会理事。



東京財団政策研究所 研究主幹/
教育ジャーナリスト
松本 美奈氏

教育ジャーナリスト、一般社団法人Qラボ代表理事、東京財団政策研究所研究主幹、上智大学特任教授、帝京大学客員教授。読売新聞記者として偏差値や知名度によらない大学選びのための「大学の實力」調査を10年間統括。2019年に独立して現職。著書に『異見交論崖っぷちの大学を語る』(事業構想大学院大学出版部)、『特別の教科 道徳 Q&A』(共著ミネルヴァ書房)など。



13:10 ~ 14:20

分科会セッション B

※201 教室、101 教室、102 教室

分科会 4 金沢大学

数字で振り返り展望する！
金沢大学融合学域・
先導 STEAM人材育成プログラムの成果

分科会 5 新潟大学

知識集約型社会における新潟大学の挑戦：
メジャー・マイナー制の戦略的全学展開

分科会 6 大正大学

学生はいかにキャリアをデザインしたか
—学びの統合から未来を展望する—

14:20 ~ 14:30 休憩

14:30 ~ 15:40

分科会セッション C

※201 教室、101 教室、102 教室

分科会 7 麻布大学

高校 - 大学 - 大学院を「好きを力に」でつなぐ
自律的修学支援体制
—麻布大学出る杭—

分科会 8 信州大学

ライフクリエイター養成コース：
実際協働力と社会実装力を兼ね備えた
AI人材育成

分科会 9 名古屋商科大学

「ケースメソッド」と「フィールドメソッド」
を組み合わせたインテンシブ教育の軌跡

15:40 ~ 15:55 休憩

